

— 安藤財団 2017年度自然体験活動支援事業 —

「第16回 トム・ソーヤースクール企画コンテスト」

文部科学大臣賞「伊那市立長谷中学校 3学年(長野県)」、
安藤百福賞「しまなみ野外学校/(株)今治・夢スポーツ(愛媛県)」に決定

公益財団法人 安藤スポーツ・食文化振興財団（略称:安藤財団 所在地:大阪府池田市 理事長:安藤宏基）は、「第16回トム・ソーヤースクール企画コンテスト」（後援:文部科学省ほか）の審査委員会を開催し、2017年度の表彰団体を決定しました。

学校部門の最優秀賞となる「文部科学大臣賞」は、過疎化が深刻な地域で、地域おこしのために「内藤とうがらし」を栽培し、景観保全と地域食材としての地場産業化を目指した体験活動、伊那市立長谷中学校 3学年（長野県）の「中学生にできる地域おこし ～伝統野菜で長谷をHOTに～」に決定しました。

また、一般部門の最優秀賞となる「安藤百福賞」は、冒険や自然体験を通して環境を学び、経験を通じて「持続可能な暮らしとは何か?」を考える場を提供した、しまなみ野外学校/(株)今治・夢スポーツ(愛媛県)の「島の冒険キャンプ9泊10日」に決定しました。

最優秀賞に選ばれた2団体には、それぞれ副賞として100万円を贈呈します。

その他、「優秀賞」として2団体、「トム・ソーヤー奨励賞」として3団体、「努力賞」として6団体を表彰します。

表彰式は、2018年1月27日(土)、安藤百福発明記念館 横浜（愛称:カップヌードルミュージアム 横浜）で開催し、ゲストに本田^{ほんだ}亮^{りょう}氏（環境マンガ家、カヌーイスト）をお招きし、講演会も行います。



公益財団法人 安藤スポーツ・食文化振興財団は、創設者 安藤 百福（あんどう ももふく）が掲げた「食とスポーツは健康を支える両輪である」の理念のもとに、青少年の健全育成と食文化向上のための事業を行っています。陸上競技の支援事業、独創的な基礎研究、食品開発、ベンチャーなどを支援する食創会「安藤百福賞」表彰事業、カップヌードルミュージアムの運営（大阪府池田市と神奈川県横浜市の2カ所）のほか、1983年の財団設立当初から、自然体験活動の普及に取り組んでいます。

「トム・ソーヤースクール企画コンテスト」は、「自然体験は子どもたちの体力、創造力、チャレンジ精神を育む」との考えに基づき、全国の学校や団体から自然体験活動の企画案を公募、その実施を支援し、優秀な活動団体を表彰するものです。また、安藤財団では、青少年の自然体験活動を推進するための人材育成や、アウトドア活動を普及することを目的として、2010年5月に「安藤百福記念 自然体験活動指導者養成センター」（略称:安藤百福センター）を長野県小諸市に設立しました。この2つの事業を通じて、子どもたちの自活力を育む自然体験活動の普及啓蒙と指導者の育成強化に貢献しています。

事業概要

1. 名 称 2017 年度自然体験活動支援事業
「第 16 回トム・ソーヤースクール企画コンテスト」
2. 内 容 自然体験活動の企画案を公募し、ユニークで創造性に富んだ活動を立案した 50 団体に各 10 万円の実施支援金を贈呈。さらに 50 団体から提出された活動報告書を審査、学校部門は文部科学大臣賞と優秀賞を、一般部門は安藤百福賞と優秀賞を授与し表彰します。
また、その内容をホームページ「自然体験.com」(<http://www.shizen-taikens.com>)で公開し、自然体験活動の振興を図ります。
3. 主 催 公益財団法人 安藤スポーツ・食文化振興財団
4. 後 援 文部科学省、横浜市、横浜市教育委員会
5. 表 彰 (1) 学校部門
文部科学大臣賞 副賞 100 万円、「チキンラーメン」1 年分
優秀賞 副賞 50 万円、「チキンラーメン」半年分
(2) 一般部門
安藤百福賞 副賞 100 万円、「チキンラーメン」1 年分
優秀賞 副賞 50 万円、「チキンラーメン」半年分
(3) 推奨モデル特別賞*1 副賞 30 万円、「チキンラーメン」半年分
(4) トム・ソーヤー奨励賞*2 副賞 20 万円、「チキンラーメン」半年分
(5) 努力賞 副賞 10 万円、「チキンラーメン」3 カ月分

*1 プランニングや指導の方法、計画を実施に移す過程などが多くの学校や団体の参考モデルになると認められた企画へ贈られる。

*2 企画内容がユニークであり、他団体への刺激や参考となり、さらなる飛躍が期待できる団体へ贈られる。

6. 審査委員会

委員長 安藤 宏基 公益財団法人 安藤スポーツ・食文化振興財団 理事長

委 員 飯田 稔 仙台大学 上級研究アドバイザー

近藤 謙司 日本山岳ガイド協会認定 国際山岳ガイド

節田 重節 NPO 法人日本ロングトレイル協会 会長

中村 達 アウトドアジャーナリスト・プロデューサー

安藤百福センター センター長

星野 敏男 明治大学 教授

日本野外教育学会 理事長

水野 正人 ミズノ株式会社 相談役会長

(50 音順)

表彰団体

[学校部門]

文部科学大臣賞

- ◆企画名 中学生にできる地域おこし ～伝統野菜で長谷を HOT に～
- 学校名 伊那市立長谷中学校 3 学年（長野県）
- 代表者 たかぎ ゆきのぶ 高木 幸伸 校長
- 活動内容 過疎化が深刻な地域で、地域おこしのために「内藤とうがらし」を栽培し、景観保全と地域食材としての地場産業化を目指した活動。
- 表彰理由 生徒たちの熱い思いと熱心な取り組みが行政や地域紙からも注目され、地域の人たちとの触れ合いを通じて、過疎化の地域おこしに貢献した情熱的な活動であった。



優秀賞

- ◆企画名 2 頭のポニーとみんなでぐんぐん ～年間を貫く体験活動と言語活動で自分自身や友達の頑張り、成長に気付く～
- 学校名 上越市立大手町小学校（新潟県）
- 代表者 おおの まさと 大野 雅人 校長
- 活動内容 ポニーの飼育活動のみにとどまらず、観察日記やかるた、ポニーカードなどの言語活動も並行して行うことで、自分自身や友達の頑張り、成長の自覚を促す企画。
- 表彰理由 ポニーの飼育活動を手段として、子どもたちひとりひとりの心の成長をいかに促していくかについて、大変細かく丁寧に取り組んでいる点が高く評価された。



[一般部門]

安藤百福賞

- ◆企画名 島の冒険キャンプ9泊10日
- 団体名 しまなみ野外学校/榊今治・夢スポーツ（愛媛県）
- 代表者 おかだ たけし 岡田 武史 代表取締役社長
- 活動内容 離島で海の暮らしを学び、そこから潮と風を読み、シーカヤックに積めるだけの荷物を積み、無人島に向かい、そこで体験するサバイバルキャンプ。
- 表彰理由 無人島で自分たちの身体とサバイバル技術だけで自分たちの暮らしを作り、カヤックを遊びだけでなく旅の道具として使用し、チャレンジ精神を育もうとするなど、斬新で冒険的要素にあふれた活動であった。



優秀賞

- ◆企画名 宇宙のまちキャンプ2017 ～本物の感動がここにある！～
- 団体名 日本宇宙少年団 南種子町宇宙科学分団（鹿児島県）
- 代表者 ふくどめ ひろかず 福留 弘和 分団長
- 活動内容 宮之浦岳登山、稲刈り体験、ロケット製作などの活動を含む集団生活を異年齢の班構成で行い、自分の役割を認識し、達成感を体験させる6泊7日のキャンプ。
- 表彰理由 宇宙センターの視察やロケット製作などの科学的な活動だけでなく、種子島と屋久島の恵まれた環境を生かして、成人でもハードな10時間登山や日本一早い稲刈り体験など、チャレンジ的な活動も評価された。



トム・ソーヤー奨励賞

- ◆企画名 こん虫パラダイス
学校名 京都市立朱雀第四小学校（京都府）
代表者 ひらの ともひろ
 平野 智洋 校長
活動内容 昔のようにホタルが飛ぶことを願って、生き物が住みやすい学校環境づくりや、自然環境を見つめながら、生き物との共生を考えるプログラム。
表彰理由 1年を通じてのビオトープ活動だけでなく、街中を流れる紙屋川の清掃活動などを行い、地域の人と一緒に環境を守ろうという姿勢に好感が持てた。また活動の中で、外来種と命の問題などを子どもたちに気づかせ議論させるなど、細かな配慮が行き届いていた点なども評価された。



- ◆企画名 冒険塾 2017 30周年記念ビワイチスペシャル
団体名 大津市立葛川少年自然の家（滋賀県）
代表者 やすだ みゆき
 安田 美幸 所長
活動内容 7日間で琵琶湖を一周する「ビワイチ」で集団生活を体験し、自然の素晴らしさや厳しさを体感する活動。同時に仲間を思いやる心や困難に打ち勝つ精神、郷土愛を育むキャンプ。
表彰理由 台風の直撃というアクシデントに見舞われながらも、48名の子どもたちが山間部の葛川を起点に、153kmの琵琶湖一周を3日間かけて自転車で完走した。また、サイクリングだけでなくテント泊、野外炊事、川遊びも取り入れ、完成度が高く達成感の味わえる活動であった。



- ◆企画名 あまくさ無人島キャンプ
- 団体名 熊本県立青少年の家（熊本県）
- 代表者 なかがわ やすたか 中川 保敬 理事長
- 活動内容 8日間のプログラムで、前半は青年の家で無人島で生活できるスキルを身につけ、後半は無人島でテントを張り、魚釣りやシュノーケリングなどを行い、生きる力を養うキャンプ。
- 表彰理由 キャンプ場→有人島→無人島へと子どもたちが段階を踏んでスキルアップできるように工夫している点。さらに、熊本地震での体験を踏まえて無人島では防災教育も取り入れ、「生きる上で大切なものを見つける機会を与える」有意義な活動であった。



努力賞

[学校部門]

- ◆企画名 「We Love しおつIV」 ～自然豊かな塩津学区と「ふるさと公園」を舞台に～
- 学校名 長浜市立塩津小学校（滋賀県）
- 代表者 さわだ ひろおみ 沢田 浩臣 校長

- ◆企画名 ダイアリー キラ☆まち日記 ～メイ・ジンからのおくりもの～
- 学校名 たつの市立新宮小学校6年生（兵庫県）
- 代表者 ふじかわ まさゆき 藤川 政之 校長

[一般部門]

- ◆企画名 子どもも、まちの主人公 ～猪名の里の自然と味覚を楽しもう～
- 団体名 自然と文化の森協会 猪名川キッズクラブ（兵庫県）
- 代表者 さとう りょう 佐藤 亮 会長

- ◆企画名 命の環境を学ぶ自然教育
- 団体名 ネイチャークラブ（兵庫県）
- 代表者 なかおか さだお 中岡 禎雄 会長

- ◆企画名 和白干潟の子ども調査隊・ガタレンジャー
団体名 ウェットランドフォーラム（福岡県）
代表者 ^{まつもと さとる}松本 悟 代表
- ◆企画名 平成 29 年度 国立夜須高原青少年自然の家 教育事業 「夜須高原長期チャレンジキャンプ」 ～非日常の生活、自然・直接体験にトライしよう～
学校名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立夜須高原青少年自然の家（福岡県）
代表者 ^{えはら しげる}江原 滋 所長

表彰式・講演会

- 日 時 2018 年 1 月 27 日 (土) 13 時より 15 時 30 分まで
場 所 横浜市中区新港 2-3-4
安藤百福発明記念館 横浜（愛称:カップヌードルミュージアム 横浜）
5 階イベントホール
- 内 容 ①表彰式
②活動報告
③講演会 本田 亮氏（環境マンガ家、カヌーイスト）
テーマ:「自然と取っ組み合いで遊ぼう！」
- 参加方法 自然体験.com (<http://www.shizen-taiken.com>) をご参照ください。
※表彰式・講演会への参加応募締切は 2018 年 1 月 10 日（当日消印有効）です。

《この件に関するお問い合わせ先》
公益財団法人 安藤スポーツ・食文化振興財団
事務局 荒金 善一

〒563-0041 大阪府池田市満寿美町 8-25 TEL (072) 752-4335
(火曜日、年末年始は休業日)
お問合せメール:y-aragane@ando-zaidan.jp